

平成28年度 第1回枝市子ども・子育て会議 議事録

日 時：平成28年8月26日（金） 午前10時00分～午前11時35分

場 所：藤枝市役所 西館 大会議室

出席委員：松永委員長 鈴木正副委員長 石間委員 瀧下委員 糸柳委員 片山委員 大石茂委員  
鈴木芳委員 鈴木英委員 原木委員 大石有委員 松浦委員 麻布委員

**議 事：【協議事項】（1）「ふじえだ子ども・子育てスマイルプラン21」の進行管理について  
（資料1及び別冊資料に基づき事務局が説明）**

委 員： 資料1の概要版のIV（1）に保育定員のH27年度実績値205人分確保、達成率112%とあるが、別冊資料の14Pではどのように読み取れば良いか

事務局： 別冊資料14Pの中段にあるH27年度の確保方策（B）1709人とH28年度の確保方策（B）1892人の差183人分の整備を計画に計上していた。その下段の実績（C）のH27年度とH28年度の差が205人となっているので計画値を上回っている。

委 員： 資料1の概要版IV（3）の地域における子育て支援事業の実施について、実績値が必要量となっているが、潜在的なニーズまで対応できているのか。

事務局： 利用者のニーズには全て対応出来ているが、別冊資料の16P以降にある計画値の確保方策と乖離している事業については、事業の実施率は100%であるため、このような表記とさせていただいた。

委 員： 別冊資料の35Pの保育士の確保について、計画に沿って施設整備が進められていく中で、質と量の確保が重要と思われるが、保育園の現場としては、どのような方策を考えているか。

委 員： 基準上の人員を確保することは当然だが、支援の必要な子どもも増えており、職員の手も掛かる。どの園も保育士は採用したいが、求人を出しても中々応募が無いという苦しい現状がある。

事務局： 焼津市にある静岡福祉大学にH27年度に子ども学科が創設され、包括連携協定を締結している。学生に本市の子育て施策をPRしていく中で、市内の事業者と連携をして、本市での就職に結びつけていきたいと考えている。

委 員： 先程の地域における子育て支援事業の実施について、達成率は100%ということであったが、利用者の満足度などはわかるか。

事務局： 現時点で満足度調査は行っていない。今後の検討課題としたい。

委 員： 本年度に小学校に入学してきた児童で、保育所も幼稚園も通わずにきた児童がいた。保護者と話しをすると経済的に厳しいような旨も窺えた。そのような家庭への支援や相談体制はどのようなになっているか。

事務局： 子どもの貧困は近年問題になっており、市では保護者の生活安定を図るため、自立生活サポートセンターを直営で設置し、就労等の支援をしている。今後も当部署のPRを進め、支援を継続していく。

委員長： 別冊資料の16Pの子育てコンシェルジュについて、相談件数1600件に対して、1名の配置で利用者の満足度を高めていけるのか。

事務局： 子育てコンシェルジュについては、児童課保育推進係に配置し、相談業務等の対応をしている。コンシェルジュ1名で対応するのではなく、係の担当職員と連携を取りながら対応させていただいている。

委員長： 病児保育事業について、今後の見通しを伺いたい。

事務局： 病児保育事業については、秋頃の事業開始に向けて、受入れ先を調整しているところである。将来的には、駅の南方面と北方面の2か所整備したいと考えているが、病児保育を開始するにあたっては、医師との連携が不可欠であるため、医師会との協議を今後進めていく。

全会一致で承認

**議 事：【報告事項】** (1) 青葉ひよこ保育園の開設について  
(2) 多子世帯子育て応援事業の利用状況について  
(3) 「結婚」～「子育て」に関する新たな取り組み実績と計画について  
(資料2から資料4に基づき事務局が説明)

委 員： 多子世帯子育て応援事業について、対象世帯が約1300世帯あるとの事だが、3人目の出生届を出した時に交付すれば実施率も上がるのではないか。

事務局： 子ども家庭課で児童手当の手続をされた際に事業の案内をしており、3人目の子どもが生まれた家庭については、遺漏なく案内出来ている。既に3人以上の子どもがいる世帯については、ホームページやイベントを通して事業のPRすることにより、申請を促していく。

委 員： 結婚から子育てに関する取組という事で、様々な講座をやられているが参加者の満足度はどうであったか。

事務局： それぞれの事業でアンケートを取り、参加者の満足度を測っている。具体的な数字は手元にないが、8割近くの満足度を得られた。アンケートの中でスキルを磨いても出会いの場が無いという意見もいただいたため、今年度はその意見を反映させ、出会いの場の創設を事業化した。

委 員： 青葉ひよこ保育園について職員の確保は出来ているのか。

事務局： 現在、保育士の確保について園と共に取り組んでいる。

**議 事：【報告事項】** (4) 放課後児童クラブ利用児童数について  
(5) れんげじスマイルホールの利用状況について  
(6) 三市連携子育て支援事業「志太すくすくmap」の作成について  
(7) 青島小第3・4クラブ及び青島東小第2児童クラブ建築工事概要  
(資料5から資料8に基づき事務局が説明)

委 員： 資料5の放課後児童クラブ利用児童数について、青島小のまつばっこは4年生以上の利用が見られないが、どういう事か。

事務局： まつばっこについては、元々の利用児童数が多く、4年生以上の受け入れが出来ていない状況である。今年度に施設整備をすることにより来年度の受け入れ態勢を整えていく。

委 員： 放課後児童クラブの利用者は、今後も増えていく計画であるが、環境面の対策はどうなっているか。また、空き教室の利用について、学校活動との干渉は起こってしまわないか。

事務局： 体調を崩してしまった子どもを静養させるための仕切りを設置したり、空調機器を設置するなどの環境整備を進めている。空き教室についても学校と協議をし、学校活動に影響の無いように連携をとって運営している。

委員長： 大洲小についても4年生以上の利用が見られないが、どういった理由か。また利用人数が小数点以下となっているが、一日あたりの平均人数と理解すればよいか。

事務局： 大洲小については、4年生以上の利用申込みがなかった。利用人数については、週2回利用等の毎日利用しない方もいるので、週の平均利用状況を把握し、定員を超えての受け入れを図っているものである。

委員： 志太すくすくmapについて、オムツ換えや授乳可能施設とはどのような設備が整っているのか。

事務局： 市では、オムツ換えや授乳可能な設備が整っている施設をあかちゃん駅として登録しており、オムツ換えについては、多くが多目的トイレにオムツ交換台が設置されている施設で、授乳可能な施設については、手洗い場等が設置されている施設である。

委員： 授乳可能施設にミルクを作るお湯は用意されているのか。

事務局： お湯の用意はされていない。

**議 事：【報告事項】(8) 藤枝市子ども発達支援センターの活動状況について  
(別冊資料に基づき事務局が説明)**

質疑なし

(11時35分議事終了)